

2021年10月1日

教室殿

第10回学生野ヒマラヤ野外実習ツアー実施のお知らせと参加者募集に関するお  
願い

中秋の候貴教室におかれましては益々ご清栄のことと拝察します。

さて、2012年に開始し、各方面で大きく評価されてきました学生のヒマラヤ  
野外実習ツアーは、今年3月に実施予定の第10回ツアーが、COVID-19パンデ  
ミックのため1年間延期されて、来年3月に実施予定となっております。

プロジェクトでは COVID-19 の感染状況や日ネ両政府の対策等を慎重に検  
討の結果、予定通り実施することに致しました。

つきましては、同封の「第10回学生のヒマラヤ野外実習ツアー参加者募集  
ビラ」および「ネパール入国及び日本への帰国に関する両国の入国条件と実習  
ツアーチームの対応」を貴教室にご掲示頂きたく、よろしく申し上げます。

学生のヒマラヤ野外実習プロジェクト

世話人会代表 吉田勝

## 第10回学生のヒマラヤ野外実習ツアー参加者募集

Call for participants to the 10<sup>th</sup> Student Himalayan Exercise Tour

— 2022年3月、15日間で20万円以内 —

(地学団体研究会・国際 Gondwana 研究連合・ネパール地質学会・ネパール地すべり学会・日本応用地質学会推薦)

### 造山帯の真髄をヒマラヤで勉強する！

ヒマラヤ地学や野外地質学に造詣の深い日本全国の大学教員、元教員や技術者ら（33人が指導・引率者として登録）がボランティアで、日本の学生に素晴らしいヒマラヤの地学と自然環境を実地で実習指導します。航空運賃、宿泊費、食費、現地ガイドやポーター等の必要経費一切込みで参加費学生1人20万円以内、実施主体の利益なし完全ボランティアのプログラムです。詳細は別紙「第10回学生のヒマラヤ野外実習ツアー実施要項」（下記ホームページ）をご覧ください。

島根大学や山形大学など、17教室・学科では参加学生に対して実習単位の付与が可能になり、或いはその方向を検討中です。なお、本実習ツアーには高校生、中・高校教員や関係分野企業の新人社員のほか、一般市民もご参加頂けます。

本実習ツアーの第1回目は2012年3月に実施され、以後毎年行われてきました。実施報告は日本地質学会 News（22巻4号など毎年の News 誌）や各回ツアーの報告書（フィールドサイエンス出版、ネットで入手可能）、或いは学生ヒマラヤホームページ（下記）でもご覧頂けます。[http://www.gondwanainst.org/geotours/Studentfieldex\\_index.htm](http://www.gondwanainst.org/geotours/Studentfieldex_index.htm)



### お問合せ・参加お申込み

参加ご希望、あるいはご興味の方は、下記世話人会メンバーのいずれかにご連絡、お問合せ下さい。なお、世話人らは国内外の出張業務など多用のため、ご返事が遅れる場合があります。参加お申込みは吉田勝宛にお願いします。

1. Gondwana地質環境研究所 吉田勝 E-mail: [gondwana@oregano.ocn.ne.jp](mailto:gondwana@oregano.ocn.ne.jp) Tel & Fax: 0736-36-7789 / Cellphone & SMS: 080-6112-7789
2. 北大総合博物館 在田一則 E-mail: [arita@museum.hokudai.ac.jp](mailto:arita@museum.hokudai.ac.jp) Tel: 011-706-2724
3. 島根大学総合理工学部 酒井哲弥 E-mail: [sake@riko.shimane-u.ac.jp](mailto:sake@riko.shimane-u.ac.jp) Tel: 0852-32-6464

単位振替が可能な教室・学科等は上記 URL でご確認ください。単位取得手続き等については、当該教室・学科等の担当教員等にお問い合わせ下さい。

なお、参加者はネパール入国時と日本帰国時に当局によって決められた COVID-19 感染対策（以下）をとる必要があります。ネパール入国では PCR 検査陰性証明とワクチン接種証明の提示で、これは参加者各自での対応をお願いします。日本帰国では3日間の空港近辺のホテルでの待機とその後14日間の自宅などでの健康観察は可能ならば参加者やご家族で、それが困難な方については実習チームが対応に協力します。詳しくは別紙「ネパール入国及び日本帰国に関する両国の入国条件と SHET-10 の対応」をご参照下さい（上記学生ヒマラヤ HP のリンク）。

### 実施概要（詳しくは上記で実施要綱をご参照下さい）

<参加申込み受付開始>2021年5月10日 <締め切り> 2021年12月末日（参加定員20人に達した時以降はキャンセル待機リストへのご登録となります）。

<実習実施時期（仮日程）> 2022年3月4日～18日、出国から帰国まで15日間。参加費用 学生・大学院生：20万円以内（暫定参加費20万円）、その他の個人参加者：25万円以内、大学・企業などの公費による組織派遣教員/社員：30万円以内。参加申込は吉田勝宛て、申込金（暫定参加費の50%）は申込み時、参加費残額（暫定参加費総額の50%）は2021年12月末日まで。ツアー終了後に残金が出れば返還する。お振込は下記の銀行口座をお願いします。

三菱東京 UFJ 銀行 阿部野橋支店、普通預金口座：6601226、口座名義：Gondwana地質環境研究所 代表 吉田勝



ダウラギリ連峰をバックに、第4回実習ツアー参加の学生達（2015年3月）

学生のヒマラヤ野外実習プロジェクト世話人会  
(代表 吉田 勝) 2021年10月1日

## ネパール入国及び日本帰国に関する両国の入国条件（9月24日現在）と実習ツアーチームの対応

2021年9月24日現在における日ネ両国政府の入国・帰国条件を以下に記します。第10回学生ヒマラヤ野外実習ツアーチーム(SHET-10)の出発時にこれが改訂された場合も以下記述の対応を参考にします。なお、両国政府による旅行取りやめなどの要請が出されたときは実施を1年間延期します。

### ネパール入国時

- ①日本出国の前72時間以内のPCR陰性証明書の所持
- ②ワクチン2度あるいは3度接種証明書の提示者はカトマンズでのホテル1-2泊の後は移動自由。
- ③ワクチン不十分あるいは未接種者は10日間のホテル待機で11日目のPCR検査陰性で移動自由となる、ただし、各地方によってなんらかの制限があり得る。
- ④なお、入国VISAは空港で申請し、発給される。

### ネパールからの日本帰国時

- ⑤ネパール出国前72時間以内のPCR陰性証明書の所持
- ⑥空港検疫所の指定ホテルで3日間待機
- ⑦その後は自宅かホテルで14日間健康観察待機
- ⑧上記に関する本人の移動は公共乗り物は使わず、自家用車、レンタカー、タクシーなどでなければならない。

### 上記両国の入国・帰国条件に対するSHET-10の対応

SHET-10参加者は日本出発時には上記①及び②をクリアしておく必要があります。帰国時の⑥と⑦の待機は参加者各自の責任で対応をお願いしますが、対応が困難な人は関空帰着者に限り、実習ツアーの実施主体であるゴンドワナ地質環境研究所が対応に協力できます。帰着後3日間滞在が義務付けられる経済的なホテルの探索やその後のレンタカー手配などいろいろな協力が可能ですが、まずは以下のような準備をしました。帰国4日目から数日間は和歌山県橋本市の研究所にご滞在頂き、その後は長野県白馬村の研究所分室にご滞在頂きます。空港から橋本市の研究所への異動や研究所から白馬村分室までの異動は研究所でお世話します。なお、橋本市～白馬村の間にご自宅等がある人で、そのご自宅等への帰宅希望者は、上記の異動途中にご帰宅頂くことが可能です。以上の滞在と移動については食費・光熱費・ガソリン代・高速料金、あるいはレンタカー料金など実費のご負担が必要です。

2021年10月1日

学生ヒマラヤ野外実習プロジェクト

世話人会代表／SHET-10引率・指導者 吉田勝